

第 39 回明大昆虫セミナー

イチゴの主要害虫を対象とした  
高濃度二酸化炭素くん蒸処理による防除法の実用化

小山田 浩一 氏

(栃木県 農業環境指導センター)

日時：2016 年 12 月 20 日（火）16:30～18:00 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0310 教室

『高濃度二酸化炭素くん蒸処理』は、定植前の苗を処理することで圃場への害虫の持ち込みをなくす画期的なアイデアで、化学農薬に依存しない防除法として期待されています。栃木県のイチゴ栽培においては既に導入が進んでいますが、そこに至る道のりは決して簡単ではなかったようです。

今回のセミナーでは、主要害虫であるナミハダニ、ワタアブラムシおよびオンシツコナジラミに対する殺虫効果、定植直前のイチゴ苗に処理した場合の花芽形成に対する影響、ほ場レベルでの実証試験の結果など、実用化に向けた最前線の研究成果について紹介して頂きます。また、残されている課題にも触れながら、演者の視点から見た課題解決の方法、将来展望などについて論じて頂きます。現場の研究を知る貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参集下さい。

問い合わせ： 農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享